

一般質問

(4面～6面) 12月4日、5日、6日、7日

※原稿は市長部局の答弁も含めて各議員が作成しています。
二次元コードをスマートフォン等で読み取ると、YouTubeでご覧いただくことができます。なお、休憩を挟んだ議員は2つ(上:前半、下:後半)掲載しています。

会派の略称

(自民党・信頼)	自由民主党・信頼の小金井	(こがおも)	小金井をおもしろくする会
(みらい)	みらいのこがねい	(参政党)	参政党小金井
(子どもの権利)	子どもの権利を守る会	(生活者ネット)	生活者ネットワーク
(日本共産党)	日本共産党小金井市議員団	(緑・つながる)	緑・つながる小金井
(公明党)	小金井市議会公明党	(街の仲間たち)	街の仲間たち

子どもたちを守るための瞬間的拘束具の導入を



吹春やすたか (自民党・信頼)

先日、都内繁華街で3人組の暴漢が貴金属店に押し入り、店員の「刺股」を使った反撃で撃退されたことがテレビやネットで繰り返し報道された。「刺股」は効果的ではあるが取り回しが非常に難しい。暴漢を「刺股」で制圧できたとしても警察が到着するまで、そのままの姿勢を4～5分かそれ以上保持しなければならぬ。そこで既存の「刺股」に装着するだけで不審者を拘束できる「瞬間的拘束具」が存在する。「刺股」への取付けと操作も簡単にでき、帯状の約1mで、侵入者や犯罪者の身体に

都市農業の活性化をスマート窓口について



小林正樹 (公明党)

① 小金井市の都市農業が将来にわたり持続発展するために、市は、援農ボランティアの確保及び青年経営者の育成について積極的に取り組む必要がある。(ア)日野市や国分寺市を参考にし、援農希望者や受入農家が育つ取組を。(イ)学校などで食育を通じ、青年経営者が現場で積極的に交流できる取組を。

部長 (ア)検討していく必要があると考える。農業関係者の意見を聞きながら進めてまいりたい。(イ)実際に農業に携わっている方のお話を聞くことは、子どもたちの学びにとって、大変有意義である。様々な世代との交流が設定されるよう、学校の取組に対し、積極的に連携を図ってまいりたい。

② ライフイベント時の市役所の手続の間を、窓口DXにより減らす「スマート窓口」に取り組む自治体が増えている。(ア)先進市の取組を参考に更なる検討を。(イ)市民課窓口の混雑状況をお知らせサービスの周知を。部長 (ア)市民の利便性向上のため「待たない・書かない・行かない窓口」の拡充に向け、引き続き検討。(イ)関係課と連携し検討。

■ その他、市内の民間スポーツクラブと連携した介護予防の推進について質問しました。

みんなで考えよう、福祉避難所のこと



鈴木成夫 (みらい)

① 福祉避難所の定義、位置付け、(イ)受入れルール、(ウ)受入可能人数の積算はどうか。

部長 (ア)災害発生時に高齢者、障がい者、妊産婦等の要配慮者を受け入れる避難所と位置付け、一般の方とは原則対象外としている。(イ)運営や受入れについては、災害時の情報保障、心身双方の健康への特段の配慮、障がい特性に合わせた支援に努めることとしている。(ウ)受入人数は積算していないが、各事業所のBCP策定に当たり、受入場所や人数等を示す流れがあり、福祉避難所設置・運営マニュアル

アル改定の際に調整する。② 福祉避難所設置運営について、関係部署が連携し事前協議の場を作らないか。

部長 今後、避難行動要支援者支援事業の共有も含め、地域福祉課を中心に協議の場を設けていきたい。

市長 一つの部署だけに頼るのではなく、市として取り組む課題と思っている。

DX推進で行政手続の効率化と利便性の向上を



村山ひでき (みらい)

(ア)マイナンバーカード交付率80%を実現させる取組は、証明書等のコンビニ交付手数料を期間限定で10円に下げるとも検討を。(イ)押印省略の経過は。(ウ)12月から始まった市公式LINEは友だち登録者をいかに増やしていくのが重要。これまで市が提供してきたオンライン情報発信サービス登録者全員に宣伝しないか。情報発信だけでなく各種手続の申請、相談業務、地域経済の活性化策、市民意向調査等に活用する可能性がある。

部長 (ア)カード交付専用窓口の設置、日曜窓口での予約交付の実施、公共施設等での出張申請サポートの実施、広報誌、HP及びSNS等での情報提供を実施中。(イ)平成6年に本人署名で可能な手続は押印を求めないよう見直しを行っており継続中。オンライン申請のハードルとなる本人署名も可能なものは見直すこととし令和6年度末を目途に事務手続を進めている。(ウ)周知はもちろん特徴的なサービス追加で利用したいと思えるツールにすることが重要。担当部署との調整が必要だが市公式Xの登録者数は約8千200人、安心・安全メールの登録者数は約1万700人となっており、有効な手段である。

市民の満足度を高めるため市役所の組織改正を



沖浦あつし (みらい)

時代の変化や社会のニーズに対応するために組織改正は必要と考えるが、平成19年の改正では丸2年の検討時間を要した。(ア)当時の予算総額と各課の事務負担は。(イ)新庁舎建設のスケジュールが決まらないうち、大規模な組織改正に着手しづらい理由は、この点か。(ウ)「くらしと文化スポーツ」の営みや地域振興が、市民の満足度を高めるための時代に合った組織改正の重要論点と考える。また、近隣4市のように、スポーツ・芸術文化・産業振興に町会・自治会活動支援と市民協働推進を加え、「総合

的な地域づくりを目指す部署」が必要と考えるが、見解は。

部長 (ア)約4千万円。相応な残業で対応したと認識。(イ)現庁舎の物理的環境の課題もあり、新庁舎への移転が見込まれる中で、いずれ大きな負担が発生する移転の時期で組織改正を行うことが最も効率的と判断する。

市長 (ウ)組織改正は、市長の政策意思の実現と市全体の総合調整の両面から検討する必要がある。一つの案として受け止めたい。地域との協働推進は、私の政策で目指す大きな柱の一つ。頂いたご意見も参考に庁舎移転に向けて順を踏んで組織改正を検討する。

協働支援センター準備室まなびあい出前講座



五十嵐京子 (自民党・信頼)

① 平成21年9月に市民協働支援センター準備室が発足して14年になる。「準備室」として14年は長過ぎる。(ア)14年間の活動の評価は。(イ)準備室がある時とない時の業務内容の違いは。(ウ)現状と新福祉会館に予定されているセンターの床面積の違いは。このままでは20年近く準備室が続く。業務が十分というイメージになり、職員モチベーションも上がらない要因になる可能性も。「準備室」は取るべき。

部長 (ア)市民協働や市民活動についての相談に年間約150件前後、市民提案型や行政提案型の協働事業の相談受付も実施。(イ)条例の設置が必要。規約や規程の整備。(ウ)現状は職員2名の机と共有の会議室だが、新福祉会館では57㎡の予定。意見も参考に考えたい。

市長 まずはご意見として受け止めたい。

② まなびあい出前講座は、コロナ禍で利用者が減った。イメージ一新で仕切り直しを。(ア)時代と共に変わる新たな課題の追加を。(イ)タイムトルの付け方に工夫を。(ウ)講座に入っていない内容でも市民の相談に乗る姿勢を出しては。

部長 (ア)研究したい。(イ)関係各課と協議したい。(ウ)研究したい。貴重な提言として受け止めたい。

聞こえの衰え(ヒアリング)フレイル)対策を



渡辺ふき子 (公明党)

① 加齢性難聴は40歳代から聴力の衰えが始まり、75歳以上では約半数が難聴に悩んでいるという。豊島区では、難聴者の早期発見とフレイル予防のため、アプリを使った聴力チェックを行っている。我が市も高齢者に聞こえの健康チェックを行わないか。

部長 先進市の動向を注視し研究する。

② がん患者等に治療と社会復帰への支援を。(ア)ウィッグや胸部補正下着等アピアランスケアの早期助成開始を。(イ)前立腺がん等による排尿障害の方のために、市役所の男性トイレにサニタリーボックスの設置を。

部長 (ア)早期の実現を目指し検討する。(イ)視察を行い、設置に向け検討中。

③ HPVワクチンの男性接種費用への助成について、東京都の補助事業の開始に合わせ、助成を行うべき。

部長 事業実施時期を含め検討したい。

④ 段差や傾斜の多い富士見通りの歩道の改修や、見晴らし坂付近の、都道連雀通りの安全対策を求める。

部長 富士見通りの課題は認識しているが、歩道は道路法に基づき規定されており改良は難しい。連雀通りへの信号機設置等は、小金井警察に伝え、更なる安全措置の検討を要望する。

